

IR

Investor Relations

News

2013

第50期 中間事業のご報告

平成25年4月1日～平成25年9月30日

Contents

- トップメッセージ
- 特集
- 財務ハイライト
- セグメント別事業概況
- トピックス
- 会社概要



コンクリート屋根スラブでは、当社最大級（約1メガkW）

市況が好転するなか、 成長スピードを加速させていきます

当上半期の概要について お聞かせ下さい。

Q1

A1 当社グループの上半期の実績は、売上高が77億79百万円(前年同期比14.2%増)、経常利益は5億37百万円(同57.9%増)となりました。売上面では、主力製品のあと施工アンカーやアンカー施工ツール関連の販売が堅調であったほか、太陽光発電市場向け製品の販売が好調に推移しました。しかし一方で、FRPシート関連製品は前期の補助金制度による特需の反動減がありました。

当上半期の外部環境の特徴としては、太陽光発電市場の伸長や都市圏を中心とした再開発需要が前期に続いて堅調に推移しました。また、政府の経済政策に伴う公共投資の増勢や、企業マインドの高まりによる民間設備投資増を背景に、市況改善の傾向が顕著となってまいりました。このほか笹子トンネル天井板崩落事故を契機に、コンクリート構造物の老朽化対策として維持保全需要に回復が見られました。

通期の見通しについては どのようにお考えですか。

Q2

A2 売上面では、主力製品であるあと施工アンカーや太陽光発電市場向け製品の需要は堅調に推移することが見込まれ、また公共施設の老朽化問題に伴う建築改修関連需要など、当社を取り巻く市場環境は比較的良好な状態が続くと期待しています。上半期は増収増益となりましたが、数年前から工法や新製品の開発を地道に進めてきたことが結実した結果であると考えております。市場環境の好転を背景とした需要の増加と合わせ、通期の業績予想は達成できると見えています。

代表取締役社長

潤下英人

■ 経営理念

奉仕は、真価の追求なり
啓発は、未来の追求なり
協調は、繁栄の追求なり

■ 社 是

創り、活かし、満たす
「人のお役に立つために、
創造提案型企業をめざす」

■ 社 訓

感性と実践力を磨き、
健康で豊かな環境づくりに
貢献します

■ 心の経営とは

私たちの会社が、最も大切にしていること。
それは「心の経営」です。
心の経営とは、「理想は高く 頭は低く 実践は足下から」を
基本姿勢とし、その実践を「挨拶と清掃」に求めています。
こうした日々の実践を通して
活気あふれる職場づくりを
目指しております。

「社団法人倫理研究所」の
ライセンス認定企業プログラム
『倫理17000』の第1号に認定



Q3 中期経営計画も含め、取り組まれている施策について教えてください。

A3 中期経営計画については、定量目標は着実にステップを踏んでいると考えます。52期(平成28年3月期)に売上高180億円、経常利益10億8千万円を目標に掲げていますが、経常利益については51期(平成27年3月期)の目標であった9億8千万円を今50期に前倒しで達成できると考えております(※1。2013年9月13日に修正開示済)。経常利益を増やす一方で、設備投資を積極的に行い製品開発や市場開拓を行ってまいります。

中期的な視野では、環境分野は、再生可能エネルギーが注目される中、太陽光関連製品「あと基礎アンカー」や「ディー・アーススクリュー」が引き続き伸張しております。太陽光パネルの設置は、現在は大型案件が中心となっていますが、今後は小型化され簡便なものを中心に、当社の製品や技術の優位性がさらに発揮できると期待しています。

安全・安心分野では、コンプライアンスの社会的な強化を背景に環境が変化しており、製品優位性の高い当社のアルコール測定器について市場シェアを高めていきます。

また、玄関センサーなどの建物のIT化が進みセンシングに対する関心が強まるなか、アルコールセンサーだけに囚われないセンシング分野にも取り組んでまいります。

あと施工アンカーを中心としたファスニング事業、工法開発を中心としたリニューアル事業、様々なセンシングを中心としたセンサー事業が、これからも事業の3本の柱になるよう事業展開を図ってまいります。

2020年の東京オリンピック開催が決定しましたが、オリンピックで使う建物はコンクリート系の建物や鉄骨系の建物が多く、あと施工アンカーや工事関連には追い風が吹くことが期待されます。社内プロジェクトを立ち上げ、市場の変化やニーズに対応すべく、スピードを上げて取り組んでまいります。

さらに経営スローガンである「チャレンジ35」の達成に向けては、人事制度改革を中心に、引き続き3つの改革を進めてまいります。

Q4 最後に株主・投資家の皆様へのメッセージをお願いします。

A4 当社は建設分野を主力に事業を拡大してきましたが、環境関連など新たな分野への投資を行い太陽光発電市場向け製品が急速に成長しました。今後はセンシング技術にも積極的に取り組み、「安全・安心・環境」にこだわった製品をご提供しながら、社会にとって必要な会社としてさらに成長してまいります。当社を取り巻く市況が予想以上のスピードで変化していますが、これまで以上に開発や改革のスピードを上げ、企業価値やブランド力を高め株主価値の向上を図ってまいります。

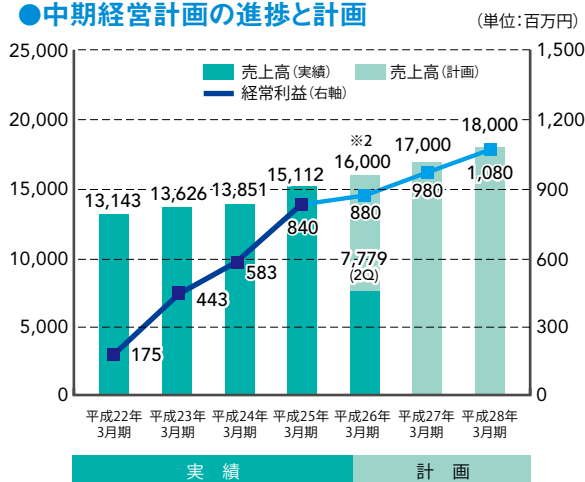
長期的な観点から、当社グループの成長を見守って下さいますよう、何卒、よろしくお願いいたします。

2013年11月

※1. 平成26年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	売上高 (単位: 百万円)	営業利益 (単位: 百万円)	経常利益 (単位: 百万円)	当期純利益 (単位: 百万円)	1株当たり 当期純利益 (単位: 円 銭)
前回発表予想	16,000	900	880	528	129.75
今回修正予想	16,340	1,070	1,030	610	149.90

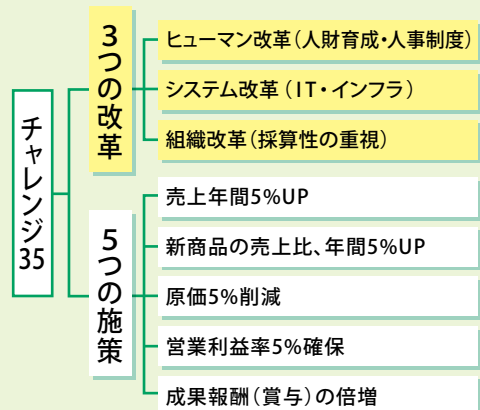
● 中期経営計画の進捗と計画



■ 中期経営ビジョン・戦略 PLAN2015



■ 経営スローガン・チャレンジ35



特集

太陽光発電システムの施工実績

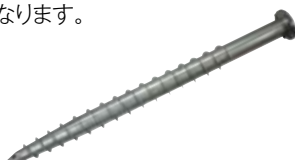
2012年7月から再生可能エネルギーの全量買い取り制度がスタートし、太陽光発電が牽引する格好で再生エネルギー市場が活発化しています。太陽光発電の導入実績は、2002年から2011年までの10年間で約8倍にも増え、その後も伸張しています。

近年は住宅用太陽光発電システムに加え、産業用や公共施設などでも導入が進んでいますが、当社の製品である「あと基礎アンカー」を用いたダイレクトスラブ工法や「ディー・アーススクリュー」によるダイレクトアース工法での設置実績も増えています。

大地
に...

ダイレクトアース工法(ディー・アーススクリュー)

太陽光パネルを地盤に直接設置する新たな基礎工法です。「ディー・アーススクリュー」はスクリュー形状で地盤に直接打ち込み、簡単に施工することができます。従来のコンクリート基礎と比べ、工期・工程を大幅に短縮できるのが特長で、打ち込み後すぐに架台の設置にとりかかれます。また、施工だけではなく撤去も容易で原状回復が可能となります。



陸屋根
に...

ダイレクトスラブ工法(あと基礎アンカー)

「あと基礎アンカー」を用いたダイレクトスラブ工法は、アンカー自体が基礎部となり、太陽光パネルの架台を固定し支えます。このため、従来工法で不可欠となっていたコンクリート基礎工事が不要となり、大幅な工期の短縮を実現しています。



【凡例】

	kW	本/個
ダイレクトアース工法 (ディー・アーススクリュー)	施工実績地方における 発電量の合算値	施工実績地方における ディー・アーススクリューの総本数
ダイレクトスラブ工法 (あと基礎アンカー)	施工実績地方における 発電量の合算値	施工実績地方における あと基礎アンカーの総個数

ディー・アーススクリューとあと基礎アンカーの合算



0~500kW



500~1,000kW



1,000kW以上

九州・沖縄地方

工 法	kW	本/個
ディー・アーススクリュー	264	600
あと基礎アンカー	436	1,247

近畿地方

工 法	kW	本/個
ディー・アーススクリュー	1,903	2,445
あと基礎アンカー	632	1,224

中国・四国地方

工 法	kW	本/個
ディー・アーススクリュー	3,774	4,087
あと基礎アンカー	400	877



香川県(ディー・アーススクリュー)

■ 本社屋上に太陽光発電設備を設置しました

再生可能エネルギーの普及・促進のために、当社ダイレクトアース工法とダイレクトスラブ工法が大きく貢献しています。太陽光発電設備を安心かつ安全に固定するために、当社が培ってきた締結の技術がその足もとを支えています。当社が提案する、最適な基礎と架台のシステムを多くの方々にご覧いただくため、本社屋上に太陽光発電設備を設置しました。わずか20kW規模の設備ですが、非常時に近隣5戸分相当の電力供給を可能にします。

本社建屋はもともと商業施設で、スクラップ&ビルドではなく良好な建設ストックとして再利用しており、太陽光発電設備を施すことで躯体と防水層を保護する効果が期待できます。また、夏場の日差しを遮り、階下の居住性が向上する効果も期待できます。ささやかながらも地球環境の保全に貢献しています。



太陽光パネルは0度と10度の2種類の角度で設置しています。設置後の発電効率や汚れ度合い等の実証試験を行っています。

全 国		
工 法	kW	本数/個数
ディー・アーススクリュー	19,321	26,699
あと基礎アンカー	4,022	8,212

※平成 22 年 10 月～平成 25 年 10 月実績

北海道・東北地方

工 法	kW	本/個
ディー・アーススクリュー	929	1,138
あと基礎アンカー	220	689



山形県(あと基礎アンカー)

関東地方

工 法	kW	本/個
ディー・アーススクリュー	11,121	15,495
あと基礎アンカー	2,139	3,739



栃木県(ディー・アーススクリュー)



群馬県(ディー・アーススクリュー)

中部地方

工 法	kW	本/個
ディー・アーススクリュー	1,330	2,934
あと基礎アンカー	195	436



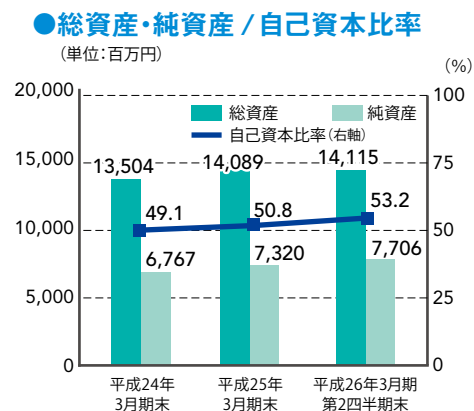
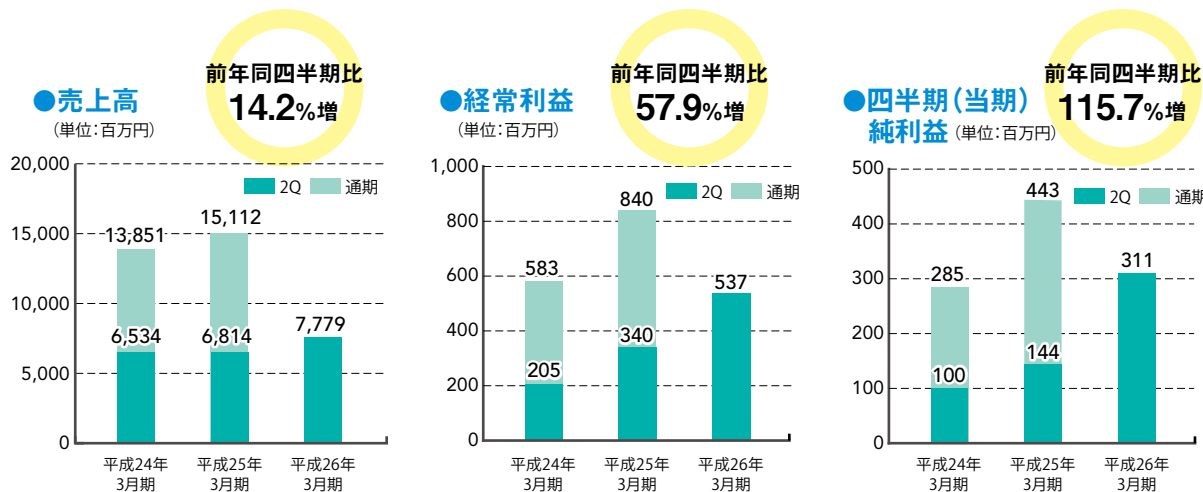
神奈川県(あと基礎アンカー)



千葉県(ディー・アーススクリュー)

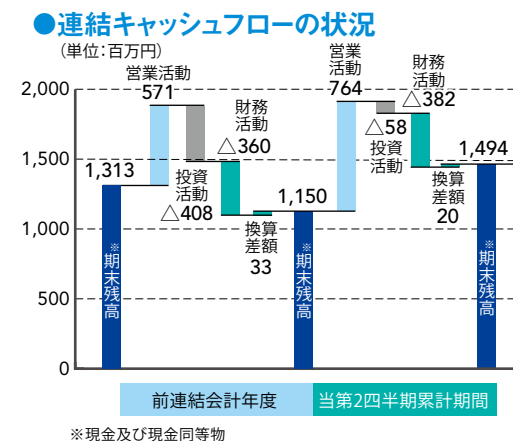
財務ハイライト

当社グループは、中期経営ビジョンのもと、安全・安心・環境をキーワードに各事業において新製品の開発に注力しました。当第2四半期連結累計期間の売上高は 7,779 百万円（前年同四半期比 14.2% 増）、経常利益は 537 百万円（同 57.9% 増）、四半期純利益は 311 百万円（同 115.7% 増）となりました。



●連結損益計算書(要約)
(当第2四半期累計期間:平成25年4月1日~平成25年9月30日 前第2四半期累計期間:平成24年4月1日~平成24年9月30日)
(単位:百万円)

科 目	当第2四半期累計期間	前第2四半期累計期間	増 減
売 上 高	7,779	6,814	14.2%
営 業 利 益	564	354	59.1%
経 常 利 益	537	340	57.9%
当期純利益	311	144	115.7%



●連結貸借対照表(要約)
(当第2四半期:平成25年9月30日現在 前期:平成25年3月31日現在)
(単位:百万円)

科 目	当第2四半期末	前期末	増 減
流 動 資 産	7,746	7,760	△0.2%
固 定 資 産	6,369	6,329	0.6%
資 産 合 計	14,115	14,089	0.2%
科 目	当第2四半期末	前期末	増 減
流 動 負 債	4,929	5,421	△9.1%
固 定 負 債	1,479	1,348	9.8%
純 資 産	7,706	7,320	5.3%
負債・純資産合計	14,115	14,089	0.2%

セグメント別事業概況

ファスニング事業

あと施工アンカー、建設資材の留め具であるファスナーなどの締結資材やドリルビット、電動油圧工具等を製造・販売しています。



●売上高
5,977百万円
●セグメント利益
413百万円

建設資材の不足や人員不足により工事の着工に遅れが出ましたが、都市圏を中心とした再開発需要の伸びを受けて、主力製品である金属系・接着系アンカーの販売が順調に推移しました。

リニューアル事業

あと施工アンカーをはじめとする締結技術を応用し、各種構造物を守る工法を開発、耐震補強等に活用しています。



●売上高
1,549百万円
●セグメント利益
139百万円

太陽光関連では、メガソーラーの物件や公共投資の増勢により中規模物件の引合いが伸長したほか、外壁補修関連製品が順調に推移しました。

センサー事業

車両の表示板用や工事・事故の表示板用、観測機向けなどの電子プリント基板や各種測定器の生産・販売を行っています。

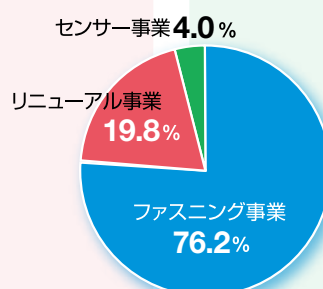


●売上高
317百万円
●セグメント利益
2百万円

電子基板関連で試験機関連製品が好調に推移したほか、アルコール測定器が堅調な伸びをみせました。

●セグメント別売上高構成 (平成26年3月期第2四半期累計)

※セグメント間取引を含んでいるため、合計額は連結売上高と一致していません。



Topics

本社の移転について

平成25年8月、本社機能と営業部門との連携による業務効率化や、経費削減および資産の有効活用を目的として、本社を移転いたしました。屋上には当社製品である「あと基礎アンカー」を用いたダイレクトスラブ工法で太陽光パネルを設置しています。



太陽光発電システム施工展 出展 [2013年10月2日～4日/インテックス大阪]

太陽光発電システム施工展は、太陽光発電システムを構成するシステム機器をはじめ、設計、施工、取付け、メンテナンスに関するあらゆる製品・技術が一堂に出展する商談場で、コンクリート基礎に代わる新基礎システムを出展。コンクリート陸屋根向け「ダイレクトスラブ工法」、地盤設置型太陽光発電向け「ダイレクトアース工法」をPRしました。



免責事項

本資料の将来に係る記述は、現時点で入手可能な情報および将来の業績に影響を与える不確定な要素を含む仮定を前提としております。実際の事業は、今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

会社概要			(平成25年9月30日現在)
商 号	設立	サンコーテクノ株式会社	
設 立	資本金	1964年5月15日	
資 本	社 員 数	768百万円	
社 員	所 在 地	303名(連結570名)	
所 在 地	取 引 銀 行	千葉県流山市南流山三丁目10番地16	
		TEL 04-7157-3535	
		FAX 04-7178-6661	
	取 引 銀 行	みずほ銀行	
		りそな銀行	
		千葉銀行	
		京葉銀行	
事 業 内 容		建設資材(あと施工アンカー・ドリル・ファスナー等)、 複合材、防水材、各種測定器の企画開発・ 製造・販売・施工及び輸出入	

役員		
代表取締役社長	洞 下	英 人
取締役副社長	佐 藤	静 男
常 務 取 締 役	洞 下	正 人
常 務 取 締 役	八 谷	剛
常 務 取 締 役	上 石	茂 行
取 締 役	佐 藤	靖
監 査 役	甲 斐	常 敏
監 査 役	鈴 木	英 雄
監 査 役	塙	善 光

関連会社	
連結子会社	SANKO FASTEM (THAILAND) LTD. 三幸商事顧問股份有限公司 株式会社IKK アイエスエム・インタナショナル株式会社 株式会社スイコー SANKO FASTEM (VIETNAM) LTD. 株式会社サンオー
持分法適用関連会社	株式会社イーオプティマイズ
持分法非適用関連会社	

株式の状況		(平成25年9月30日現在)
発行可能株式総数	8,500,000株	
発行済株式の総数	2,186,352株	
株主数	1,770名	

大株主		当社への出資状況	
株 主 名	持株数(千株)	持株比率(%)	
洞下 英人	287	13.13	
東京中小企業投資育成株式会社	180	8.23	
有限会社サンワールド	170	7.77	
サンコーテクノ社員持株会	119	5.46	
新井 栄	65	2.99	
洞下 照夫	53	2.45	
株式会社みずほ銀行	44	2.03	
佐久間 菊子	41	1.91	
佐藤 静男	40	1.83	
洞下 正人	38	1.75	

(注) 1. 千株未満は切り捨てて表示しております。
2. 当社は自己株式(151千株)を保有しておりますが、上記大株主から除外しております。

サンコーテクノ株式会社
〒270-0163 千葉県流山市南流山三丁目10番地16

株主メモ	
事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	事業年度末日の翌日から3か月以内
基準日	3月31日
配当基準日	3月31日、9月30日(中間配当を行う場合)
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人	みずほ信託銀行株式会社
特別口座の	
口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
同事務取扱場所	
公告の方法	電子公告により当社ホームページ (http://www.sanko-techno.co.jp/)に 掲 載 いたします。ただし、事故、その他やむを得ない事 由によって電子公告をする事ができない場合は、 日本経済新聞に掲載いたします。

株式分割について	
投資家の皆様により投資しやすい環境を整え、一層の投資家層の 拡大と当社株式の流動性の向上を図ることを目的とし、当社普通株 式を1株につき2株の割合をもって分割いたしました。なお、株式の分 割に伴う株主の皆様への実質的な影響はございません。	
分割の日程	基準日:平成25年9月30日 効力発行日:平成25年10月1日

株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関

連絡先

0120-288-324

お問い合わせ先		証券会社等に 口座をお持ちの場合	証券会社に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先	お取引の 証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先			
各種手続きお取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)			
			みずほ証券 本店、全国各支店および営業所 プラネットブース（みずほ銀行内の 店舗）でもお取扱いたします。 ※カスタマープラザではお取り扱いできませ んのぞご了承ください。
			みずほ信託銀行 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできません のぞご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)		
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の 場合」の郵便物送付 先・電話お問合せ先・各 種手続きお取扱店をご 利用ください。		
	特別口座では、単元未満株式の 買取・買増以外の株式売買はでき ません。証券会社等に口座を開設 し、株式の振替手続を行っていた だく必要があります。		



この印刷物は、FSC®の基準に従って認証され、適切に管理された森からの木材を含んだ用紙に、「植物油インキ」を使用して印刷しました。

この印刷物は、復興支援の一環として、福島県の印刷会社に、デザイン制作および製造を依頼し発行したものです。